

リスクと保険特講Ⅱ

選択 2単位

前川 正

1. 授業の概要(ねらい)

保険会社のERM(全社リスク管理)は、保険会社の新しい経営の考え方として関心が高まっています。さらに国際および国内監督規制・欧州におけるソルベンシーⅡの導入・格付会社のERM評価など様々な観点からも焦点が当たってきています。保険会社のERM経営をどのように実践・実行していくか、について欧州のERM先進保険会社の例等を参考にしてERMに関する基本的な理論を整理していきます。現代における保険会社の競争力の根源は「資本とリスクと収益」の三つを前提として財務健全性を維持しながら企業価値を向上させる仕組みとしての保険ERM経営であると考えられます。さらに保険ERMは資本とリスクと収益の三つを前提とした合理的意思決定に関わるものとして経営戦略そのものであるといえます。リスクと保険特講Ⅱでは、保険ERMに関する基本的な理論について学んでいきます。

2. 授業の到達目標

- ①ERMに関する基本的な理論を修得することができます。
- ②欧州のERM先進保険会社の状況について理解することができます。
- ③保険ERM(ストレステスト・リバースストレステスト等)の基本的な考え方を説明できるようになります。

3. 成績評価の方法および基準

- ①課題レポート(60%)と課題に対するプレゼンテーション(40%)の実施を通して総合的に判断します。課題については授業中に提示します。
- ②複数回行うグループワークの取組状況を勘案します。
- ③毎回実施する確認チェックの取組状況を勘案します。
- ④特別講義に関する感想レポートの提出を勘案します。

4. 教科書・参考文献

参考文献

米山高生・酒井重人[編著] 『保険ERM戦略ーリスク分散への挑戦』 保険毎日新聞社
鴻上喜芳 [著] リスクマネジメント論トレーニング 創成社

5. 準備学修の内容

- 当日の講義は前回講義の各自の復習をもとに進めますので次のような準備学修課題を課します。
- ①講義で使用した資料は講義の翌日にはLMSにアップするので、復習を兼ねて資料を熟読してください。
 - ②当日の講義内容の確認チェックをLMSの課題提出機能を活用して次回の講義までに提出してもらいます。
 - ③講義内容に関連する文献・資料等(各回講義の中で都度参考文献は紹介)の自主学習に取組んでください。
 - ④特別講義の感想レポートの準備をしてください。
 - ⑤課題レポートと課題に対するプレゼンテーション実施の準備をしてください。

6. その他履修上の注意事項

- ①欠席及び欠の扱いについては原則大学の規定にフォローします。
- ②他の受講生の迷惑にならないように最低限の授業におけるマナーは厳守してください。(特に私語は慎んでください)
- ③受講に対してとくに対応が必要な場合(病気・ケガ・障害)は遠慮なく申し出てください。
- ④授業をよりよくしていく上での建設的な意見・感想・コメントも遠慮なく連絡ください。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーションー授業の進め方・成績評価の方法および基準・準備学修の内容等の概要説明
- 【第2回】 保険ERM態勢のあり方(1) 経営にリスクガバナンスの強化を促す保険ERM
- 【第3回】 保険ERM態勢のあり方(2) 保険ERMの具体的に大事な点は何か
- 【第4回】 欧米の保険会社でのERM進展(1) ERM進展の背景
- 【第5回】 欧米の保険会社でのERM進展(2) リスク文化とリスクアペタイト・個別リスク管理
- 【第6回】 保険行政とERM・ERM重視の背景・行政によるERM推進のメリットとデメリット
- 【第7回】 ストレステストとストレスシナリオ(1) ERMとストレステスト及びストレステストの手順と方法
- 【第8回】 ストレステストとストレスシナリオ(2) 経営対応の決定と実務上の論点
- 【第9回】 ストレステストとストレスシナリオ(3) リバース・ストレステストの実務
- 【第10回】 ERMと経済価値評価(1) 保険会社のリスクマネジメント
- 【第11回】 特別講義(外部講師)
- 【第12回】 ERMと経済価値評価(2) 特別編①
- 【第13回】 ERMと経済価値評価(3) 特別編②
- 【第14回】 課題の提示および説明(オンライン授業:LMS)
- 【第15回】 課題レポートの提出および課題に対するプレゼンテーションの実施